

事業 151	補助金 の名称	野菜出荷組合協議会補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82-1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	新湊野菜出荷組合協議会						
	意図 (補助目的)	会員相互の団結と協調により、野菜の安定生産を進め経営技術と所得の向上を図る。						
事業 内容	手段 (主な活動)	野菜の生産計画及び出荷計画 生産及び販売 経営指導 研修、研究調査 高能率機械の共同利用 ネギ部会、キャベツ部会、ねぎたん部会の組織強化						
		類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	白ねぎの栽培面積	ha	21	23	21	91.3

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	100 千円	(金額)	100 千円	(金額)	100 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	「富山しろねぎ」の現状と課題等白ねぎ小委員会会議 栽培技術及び担い手育成研修会				100 千円	
定率補助	「ねぎたん」の県下一斉巡回及び出荷検討会議				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		
その他	「秋冬ねぎ」生産出荷計画会議						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	生産組織への活動補助であり、組織として一体的に販売促進や品質管理に取り組むことができる。
有効性	4	ネギ・キャベツ栽培の技術向上と計画的な生産・販売等特産振興に有効であった。
効率性	2	平成21年度決算では、補助金額100千円に対し、233千円の繰越金が発生しているが、平成20年度からの繰越分である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
B	繰越金の効果的活用を図ることを前提とし、消費者ニーズに即した品種の作付け拡大、販売促進を推進するため、引き続き支援する必要がある。

事業 152	補助金の名称	JAいみず野花卉部会活動強化費補助金				担当部署	部名	産業経済部
							課名	農林水産課
						電話	82 - 1959	
総合計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち		予算科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいまいきと働くまちづくり					項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進					目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度		~		平成 年度		
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱						

事業目的	対象(交付先)	JAいみず野花卉部会					
	意図(補助目的)	花卉の栽培技術の向上と計画的な生産・販売を推進し、会員の所得増大と親睦を図る。					
事業内容	手段(主な活動)	優良種苗・施設・資材の共同購入 栽培技術の向上及び市場出荷・販売に関する研修会の開催 優良品種を中心とした、計画栽培及び先進地視察・各種試験・研究の実施 その他目的達成に必要な事項					
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	主要品種の作付け面積(キク、ストック、リンドウ)	ha	1.5	1.5	1.41	94.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	50 千円	(金額)	50 千円	(金額)	50 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	リンドウ栽培技術向上研修会 プチアスター作付計画検討会 小菊栽培研修会 スtock栽培研修会等				50 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	生産組織への活動補助であり、組織として一体的に販売促進や品質管理に取り組むことができる。
有効性	4	特産振興に有効である。
効率性	1	平成21年度決算では、市補助金50千円に対し、繰越金が144千円程度あるが、平成20年度からの繰越分である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
B	繰越金の有効活用を前提として、ストック、小菊などの作付け拡大等を図るため引続き支援が必要である。

事業 153	補助金 の名称	JAいみず野果樹部会活動強化費補助金				担当 部署	部名	産業経済部
							課名	農林水産課
						電話	82 - 1959	
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち		予算 科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり					項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進					目	農業振興費
補助期間		平成 19 年度		~		平成 年度		
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱						

事業 目的	対象 (交付先)	JAいみず野果樹部会					
	意図 (補助目的)	果樹生産組織の連携及び、栽培技術の向上と計画的な生産・販売による経営の安定を図る。					
事業 内容	手段 (主な活動)	栽培講習会の開催及び特報の発行 各関係機関、団体等の開催する研修会等への参加 その他目標達成に必要な事項					
		類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助
		格差是正補助	利子補給	その他()			

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
				活動の強化	件	25

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	600 千円	(金額)	600 千円	(金額)	600 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	平成19年度に果樹関係組合補助の統合を行いJAいみず野果樹部会とした。			600 千円	
定率補助	池多りんご共同防除			上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		
その他	りんご、梨の摘花講習会					

評価項目	点数	説明
妥当性	4	GAPチェックシートの提出など、安心して安全な生産工程管理を部会員が一体的に取り組む。
有効性	4	特産振興やGAPの推進に有効である。
効率性	4	果樹関係組織に対する活動補助は他に無く、目的達成に必要なである。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	事業の推進が図られており、引続き活動補助を実施したい。

事業 154	補助金 の名称	小杉地区農村女性グループ活動強化費補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82 - 1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	小杉農村女性グループ連絡協議会			
	意図 (補助目的)	農村の生活、営農改善に関する知識と技術を交換し、農村女性グループ相互の親睦と連絡調整を図る。			
事業 内容	手段 (主な活動)	産直販売に対するPR拡大 加工品、特産物の販路拡大 会員の自主活動の推進 ふれあい活動への積極的な参加 先進地視察			
類 型 区 分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
	格差是正補助	利子補給	その他()		

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	取組事業の拡大	件	16	17	17	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	215 千円	(金額)	215 千円	(金額)	215 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	にこにこ母ちゃん市の開店 農村女性グループ連絡協議会全国大会参加 食の王国フェスタ2009への出展(特産物販売) 食彩あさひ施設見学等				215 千円	
定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	農村のよさを生かした、農村女性による起業活動に対し支援するものである。
有効性	4	より良い農村環境と豊かな農村生活の向上の推進を図るものであり、市民の福祉向上につながる。
効率性	4	農村女性に対する活動補助は他に無く、目的の達成に必要である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	事業の推進が図られており、引続き活動補助を実施したい。

事業 155	補助金 の名称	JAいみず野野菜部会活動強化費補助金				担当 部署	部名	産業経済部
							課名	農林水産課
						電話	82 - 1959	
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち		予算 科目	会計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり					項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進					目	農業振興費
補助期間		平成 年度 ~ 平成 年度						
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱						

事業 目的	対象 (交付先)	JAいみず野園芸生産部野菜部会					
	意図 (補助目的)	野菜の栽培技術の向上と計画的な生産・販売の推進による所得の増大					
事業 内容	手段 (主な活動)	栽培技術の向上及び市場出荷・販売に関する研修会の開催 優良品種を中心とした計画栽培及び先進地の視察、各種試験・研究の実施 その他目的達成に必要な事項					
		類型区分		団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()	政策的補助

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	主要品目の作付け面積(こまつな、水菜、キャベツ、ブロッコリー)	ha	12.8	15	15.2	101.3

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	100 千円	(金額)	100 千円	(金額)	100 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	農業飛散防止技術普及推進研修会 春取り・冬取りキャベツ出荷検討会				100 千円	
定率補助	初夏取り・秋取りブロッコリー出荷検討会				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		
その他	プチベール栽培研修会						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	生産組織への活動補助であり、組織として一体的に販売促進や品質管理に取り組むことができる。
有効性	4	特産振興に有効である。
効率性	2	平成21年度決算においては、補助金100千円に対し、繰越金が466千円となっている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
B	繰越金は平成21年度では、200千円程度減少している。 事業においては、活動の推進が図られており、引続き活動補助を実施したい。

事業No. 156	補助金の名称 大門大島地区農村女性グループ活動強化費補助金	担当部署 産業経済部 農林水産課 82-1959
総合計画 施策の大綱 政策名(章) 施策名(節)	第3部 元気で活気あふれるまち 第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり 第1節 担い手育成の促進	予算科目 会計 一般会計 款 農林水産業費 項 農業費 目 農業振興費
補助期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度	
根拠法令・要綱等	射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱	

事業目的 対象(交付先)	大門・大島農村女性グループ			
意図(補助目的)	むらづくりを目的とした活動を行っているグループが行う事業に補助を行うもの			
事業内容 手段(主な活動)	①農家の生活、営農改善に関する知識、技術の交換、農村女性グループ相互の親睦及び連絡調整を行なう。 ②上位団体富山県農村女性グループ協議会への参加			
類型区分	<input type="radio"/> 団体運営費補助	<input type="radio"/> 事業費補助	<input type="radio"/> 施設等整備費補助	<input type="radio"/> 政策的補助
	<input type="radio"/> 格差是正補助	<input type="radio"/> 利子補給	その他()	

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
①	事業活動の強化	件	4	5	5	100.0
②						
③						

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	61 千円	(金額)	61 千円	(金額)	61 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容			上限額	
<input type="radio"/> 定額補助	野菜調理研修会 農業産業まつり出展による直売活動の推進 味噌作り講習会			61 千円		
<input type="radio"/> 定率補助						
<input type="radio"/> その他				※上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	農村のよさを生かした、農村女性による起業活動に対し支援するものである。
有効性	4	より良い農村環境と豊かな農村生活の向上の推進を図るものであり、市民の福祉向上につながる。
効率性	2	補助金額は、61千円であり、繰越し金額も15千円程度で見直す余地はない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
B	少額補助であるが、事業の活動強化が図られており、引続き活動補助を実施したい。

事業 159	補助金 の名称	担い手育成対策費				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
							電話	82 - 1959	
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進						目	農業振興費
補助期間		平成 17 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		射水市担い手育成総合支援協議会規約							

事業 目的	対象 (交付先)	射水市担い手育成総合支援協議会			
	意図 (補助目的)	担い手の育成確保及び新規就農者の育成確保			
事業 内容	手段 (主な活動)	担い手育成総合支援協議会活動 経営改善・能力向上支援活動 農業経営法人化推進活動 集落営農の組織化・法人化活動 農業体験活動			
		類 型 区 分	団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()

成果 指標	指 標 名	単 位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	特定農業団体の育成	経営体	45	38	45	118.4
	認定農業者の育成	経営体	63	70	65	92.9

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	250 千円	(金額)	250 千円	(金額)	250 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	<市負担金> 事業費500千円×1/2=250千円 射水市担い手育成総合支援協議会は、この他、県単独補助事業の250千円と合わせ500千円で運営されている。			250 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	実施事業は、農業の担い手や新規就農者への経営支援等を行うものである。
有効性	4	事業運営により、国制度の経営所得安定対策等に係る担い手の育成等が推進されている。
効率性	3	自主財源は無く、県補助金・市負担金のみによる運営である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	担い手である集落営農組合や認定農業者に対し、法人化や経営改善のフォローアップ強化を行うため、引続き支援が必要である。

事業 160	補助金 の名称	集落営農法人化等緊急対策事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
						電話	82 - 1959		
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進						目	農業振興費
補助期間		平成		年度	~	平成	年度		
根拠法令・要綱等		射水市農業振興対策事業等補助金交付要綱、富山県農業経営体法人化支援事業実施要領							

事業 目的	対象 (交付先)	法人化する集落営農組織(任意)及び認定農業者(個人)							
	意図 (補助目的)	農業経営を営む法人の設立							
事業 内容	手段 (主な活動)	法人化に向け、税理士・法人経営者等講師謝金、パソコン等事務機器導入費、会計処理ソフト、業務管理ソフト、先進組織視察バス代等に支援する。							
類 型 区 分	団体運営費補助		事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助		
	格差是正補助		利子補給		その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	集落営農組合等担い手の法人設立数	経営体	3	2	0	0.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	600千円	(金額)	1,350千円	(金額)	0千円	
	(件数)	1件	(件数)	3件	(件数)	0件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	< 県単独補助事業 > 平成20年度補助見直し、現在の標準事業費となる 集落営農組織の場合 標準事業費600千円 × (県1/2 + 市1/4) = 450千円 市1/4は、義務負担で、計3/4補助				450千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	経営体質の強い経営体の育成
有効性	4	経営基盤強化法に基づく、本市の基本的な構想の推進に有効である。
効率性	4	類似する補助金はない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	法人化の延長が効能となったことにより、集落営農組合の法人化が減速傾向にある。しかしながら、集落営農組合の法人化期限は、最長で10年間となっており、引続き支援が必要である。

事業 161	補助金 の名称	農林漁業就業者居住、研修支援事業補助金				担当 部署	部名	産業経済部	
							課名	農林水産課	
							電話	82 - 1959	
総合 計画	施策の大綱	第3部 元気で活気あふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	農林水産業費
	政策名(章)	第5章 だれもがいきいきと働くまちづくり						項	農業費
	施策名(節)	第1節 担い手育成の促進						目	農業振興費
補助期間		平成 21 年度 ~ 平成 - 年度							
根拠法令・要綱等		射水市農林漁業新規就業者等支援事業補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	農林漁業の新規就業居住者及び新規就業研修者						
	意図 (補助目的)	農林漁業の新たな担い手を確保し、農林漁業の振興を図る。						
事業 内容	手段 (主な活動)	農林漁業の新たな担い手を確保し、農林漁業の振興を図るとともに、市外からの転入者を農林漁業に受け入れることにより、市の活性化を図るため、新規就業研修者支援事業及び新規就業者居住支援事業を実施する者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。						
類 型 区 分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指 標 名	単 位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	農林漁業就業者の居住支援を受ける人数	人	-	5	0	0.0
	農林漁業就業者の研修支援を受ける人数	人	-	9	4	44.4

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	- 千円	(金額)	- 千円	(金額)	213 千円
	(件数)	- 件	(件数)	- 件	(件数)	4 件
	補助区分	内 容				上限額
	定額補助	農林漁業に新規に就業する者に対する助成				1,200 千円
定率補助	農林漁業就業者居住支援(600千円)				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他	農林漁業就業者研修支援(600千円)					

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	市外からの転入者を農林漁業に受け入れることにより、市の活性化を図る。
有効性	3	市内に住所を有する者又は市内に住所を移転する者が、農林漁業への就業を目的とした研修に参加し、農林漁業の法人組織若しくは個人事業者に就職する。
効率性	3	農林漁業従事者の高齢化及び後継者の減少など農林業の構造的な担い手不足に加え、急激な経済状況の変化により雇用環境の悪化に伴い、離職労働者の雇用確保とともに新たな農業担い手を確保し、農林漁業の振興を図る。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	農林漁業の新たな担い手を確保し、農林漁業の振興を図るとともに、市外からの転入者を受け入れることにより、市の活性化を図るために必要な事業である。